

漢方製剤

第2類医薬品

葛根湯エキス[細粒] 7

本方は、多くの人に知られ、また、「葛根湯医者」などという言葉があるくらいよく用いられる応用の広い処方です。本方の適応症は項背強急し、汗の出ないものを目標とします。

⚠️ • 使用上の注意 •

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください。

生後 3 ヶ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
- (4) 胃腸の弱い人
- (5) 発汗傾向の著しい人
- (6) 高齢者
- (7) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
- (8) 次の症状のある人 むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。

(2) 1 ヶ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には 5～6 回）服用しても症状がよくなる場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください。

●効能・効果●

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

●用法・用量●

次の量を1日3回、食前又は食間に温湯又は水で服用してください。
（食間とは食後2～3時間を指します。）

年 齢	1 回 量	
	分包剤	大入り剤
大人（15才以上）	1 包	2.0 g
15才未満7才以上	2/3包	1.3 g
7才未満4才以上	1/2包	1.0 g
4才未満2才以上	1/3包	0.7 g
2才未満	1/4包	0.5 g 以下

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

●成分・分量●

本品3包(6.0 g)又は6.0 gは

カッコン	2.6 g	シャクヤク	1.3 g
マオウ	1.95 g	カンゾウ	1.3 g
タイソウ	1.95 g	ショウキョウ	0.65 g
ケイヒ	1.3 g		

上記より製した葛根湯エキス（65%量）3.2 gを含有する細粒剤です。添加物としてメタケイ酸アルミン酸Mg、ヒプロメロース、乳糖、トウモロコシデンプン、香料を含有します。

●保管及び取扱い上の注意●

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
- (4)本剤は天然物を成分としていますので、製品により若干色調が異なる場合がありますが、効果には変わりありません。
- (5)分包剤で1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

●お問い合わせ先●

松浦漢方株式会社 薬事学術部

TEL (052)883-5131 受付時間 10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

発 売 元

松浦漢方株式会社

名古屋市昭和区円上町24-21

製造販売元

 **松浦薬業株式会社**

名古屋市緑区大高町寅新田36